



KIDS EARTH FUND
TOHOKU REPORT

 2011金沢美大OB
東京・銀座—金沢—N.Y.
大展览会





Foreword

この度は東北の子どもたちの為に多大なご支援を賜り誠に有り難うございました。

1988年より40ヶ国以上の国々で23年に渡り多勢の子どもたちと向き合ってきました。戦争で大人の犠牲となり親を亡くしたボスニアやクロアチアの子どもたち。貧困で幼い頃から労働を強いられ学校すら行けないベトナムやカンボジアの子どもたち。原発事故後、ホルモン異常をきたし無表情なチェルノブイリの子どもたち。

東日本大震災一週間後からは毎週東北の被災地に入り、夢中で活動を続けてきました。

宮城県亘理町、仙台市若林区、石巻市、南三陸町、岩手県陸前高田市、宮古市、福島県南相馬市、いわき市、会津若松市、喜多方市、茨城県大洗町などで物資を届けるとともに、子どもたちと絵を描くワークショップを行ってきました。

最初は避難所でその後、津波で流された学校の仮校舎で授業に取り入れて頂き活動して参りました。

今まで、ずっと支援する立場にあると思っていた大きなおごりに気づき、深く反省もしました。明日は我が身、明日また日本で何が起こっても不思議は無いと痛感した今、活動に力が入ります。

3月11日以降、世界中から温かい手紙や物資が届き支援される立場になり初めて無駄な支援、有効な支援も勉強しました。

小さな団体に大きな支援を決めて下さる事は、どんなに大きな決断であったでしょう。被災者への物資は届いてもすぐに寄付金を頂く事はとても難しく、しかも私たちの活動費用に使わせて頂ける事で支援先を拡げる事ができ、本当に助かりました。

昨年7月7日には、キッズアースホーム12号東北を宮城県亘理町に立ち上げました。

亘理町は地震後、一回目に訪れた場所でした。一週間も経っていたのに食料も充分届いてなく、一つのおにぎりを4人で分け合って食べていました。一週間ぶりにご飯以外の物を食べれたととても喜んでいました。

周辺は山元町、荒浜地区などすっかり津波で流され多くの子どもたちが犠牲になりました。

またマスコミがほとんど入っていなかった為に支援が遅れていたのも、ここを拠点として選んだ理由です。

震災後一年近く経つ今、まだ仮の住まいや、仮校舎で勉強をしている子どもたちが沢山います。

役所や行政と何度も話し合いを持ちましたが、すぐに平等主義をかざし、何とも頼りのない回答に歯がゆい思いの連続でした。

これから10年、20年とかかる東北の復興の為、そして子どもたちの為に地域の住民と共に子どもたちと寄り添って力を尽くしていきます。

これからも子どもたちが絵を描く事で心に耳を傾け自由に表現する大切さを伝えていきます。

一日も早く子どもたちが希望が持てるようになり、夢を語れる場としてキッズアースホームが東北に復興のシンボルとなる事を願っています。

子供地球基金
代表
鳥居 晴美

BREAK DOWN 寄付金使用内訳

【収入】			合計
	ご寄付として		¥557,353
			¥557,353
【支出】			合計
内容			合計
ワークショップ費用(4計回)	画用紙	¥27/1枚×300枚	¥8,100
	キャンバス 12m	¥12,181/1本×5本	¥60,905
	アクリル絵の具	¥1,050/1本×50本	¥52,500
交通費及び車関係	ガソリン ワンボックスカー1リットルで8k走る¥150/1L		¥49,826
	交通費(高速料金等)		¥29,639
暖房器具購入	ブルーヒーター FM-104F *暖房器具が全くないキッズアースホームに2台設置し、雪が降り続ける中でも温かい環境の中で子どもたちとワークショップを行う事が出来ます。		¥135,620
児童館への物資購入	長座布団	¥990/1枚×20枚	¥19,800
	・吉田西児童館 フリースブランケット	¥2,790/1枚×30枚	¥83,700
	・亘理中央児童センター 大王製紙 色画用紙	¥2,600/1セット100枚入り ×13色+2箇所	¥67,600
支援物資購入	食料、飲料、お菓子、毛布、防寒具、日用品		¥59,332
		支出合計	収入合計
		¥567,022	¥557,353

SUPPORTING AREA

Miyagi prefecture 宮城県

亶理町: 7m以上の津波が押し寄せ甚大な被害を受けた地域

- ・中央児童センター
- ・亶理小学校(避難所)
- ・亶理町役場
- ・吉田西児童館

山元町: 2494世帯、7543人の区域が津波により水没

- ・山元西児童館
- ・山元幼稚園(津波で無くなった幼稚園)

石巻市: 大津波によって小中学校の多くは廃虚と化し流された大型バスが建物に引っかかっているのもありました。雄勝中学校は卒業式の一時間後に体育館が津波に流されてしまった。

- ・雄勝中学校(石巻北高校仮校舎にて)
- ・船越小学校(石巻北高校仮校舎にて)
- ・湊小学校(避難所)

南三陸町: 津波によって被害を受けた地域

- ・志津川自然の家(避難所)

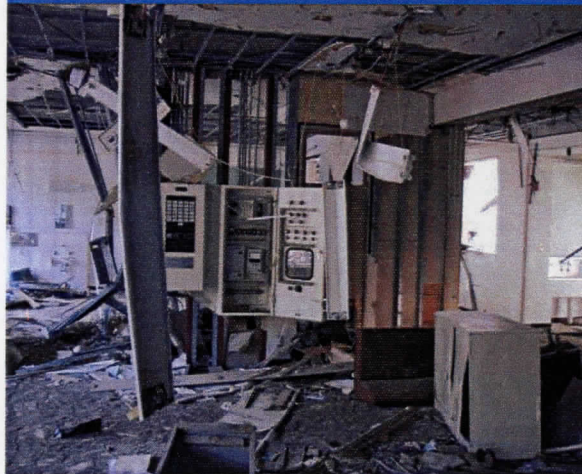
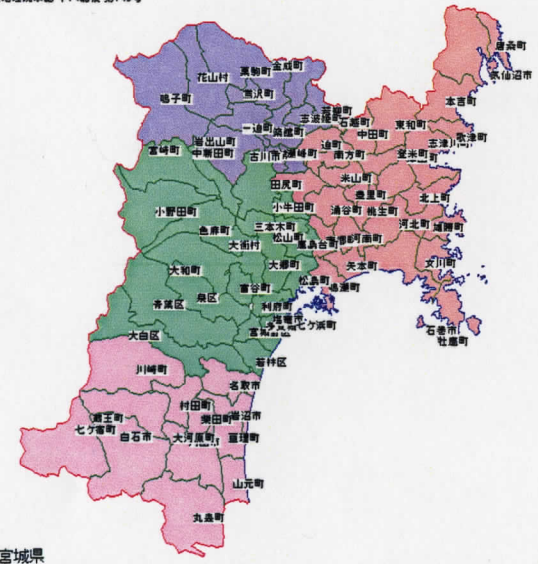
青葉区: 地震や津波で被害にあった子どもたちを訪問。

- ・宮城県立こども病院他

若林区: 津波によって家を無くした方々への支援活動。今現在も数十メートルの高さのガレキが積み上げられている。

- ・荒浜周辺
- ・七郷小学校(避難所)

国土地理院承認 平14経産 第149号



Iwate prefecture 岩手県

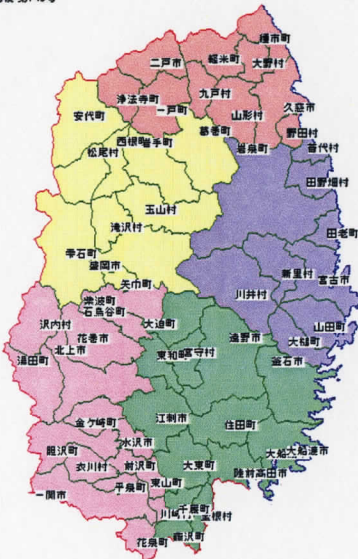
陸前高田市: 高台に位置するある小学校では、地震の直後、全校児童を校庭に避難。第一中学校は校舎に被害はなく、市内で最大規模の避難所となっている。

- ・第一中学校(避難所)
- ・市役所仮庁舎
- ・高田幼稚園(避難所)
- ・和野会館(避難所)
- ・鍬ヶ崎学童の家
- ・高田高校(避難所)

宮古市: 地震発生時は多くの学校が下校地震が発生した時多くの学校ではまだ下校させる前。校舎1階は流れてきた物が散乱。校庭内に自動車が散乱している状況。

- ・鍬ヶ崎小学校(避難所)
- ・田老町

国土地理院承認 平14地保 第149号



岩手県

Ibaragi prefecture 茨城県

大洗町: 津波の犠牲者は1人も出なかった。港の被害は大きく道路上には津波によって運ばれた砂が堆積されている状況

- ・大洗町役場

ひたちなか市:

避難所として使う予定だった市内の小中学校の体育館数カ所は壁や天井が崩れ、避難所として使えない状況となっていた。

Fukushima prefecture 福島県

喜多方市: 地震、津波、原子力災害及びこれに伴う風評被害に合う。震災後押切川公園体育館が避難所となった。

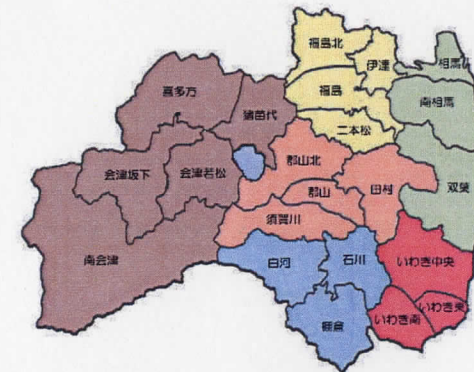
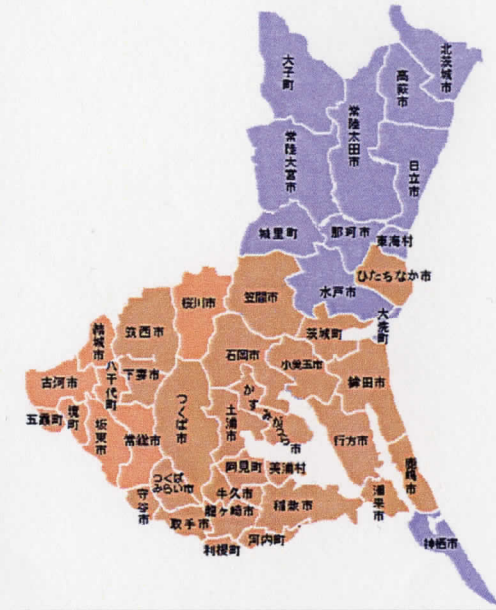
- ・押切川公園体育館(避難所)

会津若松: スーパー、コンビニ、食堂、ガソリンスタンドなどは品切れ状態が長く続き、深刻な状況。

- ・ふれあい体育館(避難所)
- ・河東総合体育館(避難所)

いわき市: 地震と原発の二重苦で大変な生活を余儀なくされている子どもたちが避難所生活をしている。

- ・グローバルミッションセンター
- ・平体育館(避難所)



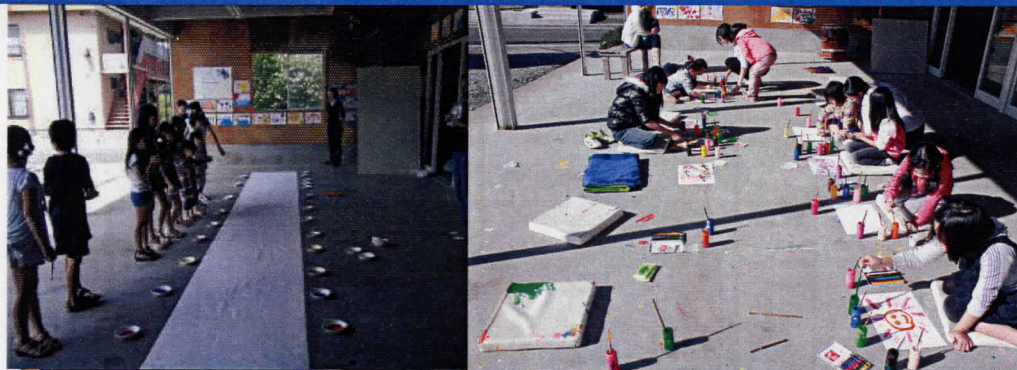




KIDS EARTH HOME Tohoku No.12

子供地球基金はキッズアースホーム東北(宮城県亶理郡亶理町逢隈十文字字佐渡153番地1)を2011年7月7日に立ち上げました。7月7日には12箇所目となるキッズアースホームを宮城県亶理郡亶理町に立ち上げました。これから長くかかる東北復興のため、そして子どもたちの為に地域と共に子どもたちに寄り添って力を尽くして参ります。

世界中のすべての子どもたちが、笑顔で自由に絵を描くことのできる日がくることを目指し、子供地球基金は活動を続けていきます。











子どもの「予想図」

「はっ、むじが顔見の...」

宮城・亘理

5~10歳の8人

みんなで笑顔

「みんなが笑顔で...」

未来を信じて



PUBLICITY

[News Paper]

読売新聞 2011年6月14日

3版 2

被災地 心のケア

見聞録

2011

5月16日、宮城県亘理郡北高野川校の体育館で...

子供の変化 見落とさない



宮城県亘理郡北高野川校の体育館で...

人の笑顔が戻らなくて悩んで...

Advertisement for 'ゴスペルって最高!!' featuring a choir performance.

9月10日中日新聞



それぞれが描いた絵を見せるアトリエの子どもたち。一所校

被災者への思い絵に...

「トンネルの向こうに光」手紙も添え

「トンネルの向こうに光」手紙も添え...

4月15日朝日新聞

小さな胸 描く被災地



◆福島
 三日月、福島県
 いわき市立南郷小
 5年生のTorii君が
 描いた。被災地を
 支援するために、
 絵やメッセージを
 書いて送っています。



◆宮城
 宮城県石巻市
 南郷小5年生の
 Torii君が描いた。
 被災地を支援す
 るために、絵や
 メッセージを写
 して送っています。

母「元気な絵で安心しました」

母「元気な絵で安心しました」
 被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。

被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。



栗本 未知さん



栗本 未知さん



◆宮城
 宮城県石巻市南郷小5年生のTorii君が描いた。



栗本 未知さん



◆宮城
 宮城県石巻市南郷小5年生のTorii君が描いた。

「こんなことでは負けない」

「こんなことでは負けない」
 被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。

「街並み 早く元に戻って」

「街並み 早く元に戻って」
 被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。被災地の子供たちが描いた絵やメッセージを、被災地の親戚や友人に届けた。

「思い出したくない。でも頑張ってる」



Thirty children from elementary schools in Tokyo, including Nishimachi International School, take part in a charity event to write Christmas cards to cheer up survivors of the March 11 disasters and hang them on a Christmas tree at the Grand Hyatt Tokyo on Nov. 16. They were joined by Harumi Torii (back row, left), founder of charity organization Kids Earth Fund, and Christophe Lorvo (back row, second from left), the hotel's general manager. YOSHIAKI MIURA

11月16日 JAPAN TIMES

Tohoku kids to get Christmas cards | The Japan Times Online 1/2 ページ

The Japan Times

HOME

The Japan Times Printer Friendly Articles

"In the scene, children from Nishimachi International School and another private school in Tokyo hang ornaments and cards on a Christmas tree at the Grand Hyatt Tokyo hotel in Minato Ward's Roppongi district Wednesday. YOSHIAKI MIURA PHOTO

Tohoku kids to get Christmas cards

By MAMI MARUKO
 Staff writer

Tokyo elementary school children gathered Wednesday to write Christmas cards to raise the spirits of young survivors of the March 11 Tohoku region catastrophe.

The 30 kids, from Nishimachi International School and another private school, sent their holiday greetings from the Grand Hyatt Tokyo hotel in the Roppongi district in Minato Ward.

The cards bear messages such as "I am thinking of you" and "Keep on smiling. Keep on moving forward," and pictures of the Hinomaru flag, Christmas trees and snowmen. The children hung the cards with ornaments on a Christmas tree at the hotel's entrance.

The event — aiming to inspire courage and hope in the children of Tohoku — was part of a charity program organized by the hotel under the theme "The Light of Happiness."

The hotel's lobby will be transformed into a Christmas charity area from Nov. 17 through Christmas Day. On Fridays and Saturdays during the period, Christmas donations such as unused clothes and toys will be accepted at the reception desk. Christmas ornaments and cards for messages that will be delivered to children in Tohoku will also be sold at the hotel's restaurants and bars.

"I want to let them have fun with the Christmas ornaments and cards and be happy," said Caitlin Ramos, 8, a second-grader at Nishimachi International School.

11月17日 JAPAN TIMES

【TV Program】

テレビ東京 地球VOCE



BBC WORLD NEWS



【Magazine】

11月27日産経エクスプレス

とっておきのラウンジで憩いのひと時

「こみみず」のラウンジは、仙台市青葉区にある。店内は明るく、開放的な雰囲気で、お客様がゆっくりと過ごすのに最適な場所です。

「こみみず」は、仙台市青葉区にある。店内は明るく、開放的な雰囲気で、お客様がゆっくりと過ごすのに最適な場所です。

「こみみず」は、仙台市青葉区にある。店内は明るく、開放的な雰囲気で、お客様がゆっくりと過ごすのに最適な場所です。

心からあげケン仙台味噌味、全国展開へ

「こみみず」は、仙台市青葉区にある。店内は明るく、開放的な雰囲気で、お客様がゆっくりと過ごすのに最適な場所です。

「こみみず」は、仙台市青葉区にある。店内は明るく、開放的な雰囲気で、お客様がゆっくりと過ごすのに最適な場所です。

観光と自動車産業、震災体験の中から学ぶ

東北大学が、震災後の企業経営を考察...

「こみみず」は、仙台市青葉区にある。店内は明るく、開放的な雰囲気で、お客様がゆっくりと過ごすのに最適な場所です。

Good Green Company

東北の子どものために "クリスマス"を贈るホテル 御礼もプレゼントも受付中!!

メトロミニッツ12月号

仙台経済界11-12号

http://chikyuu-mo-cocokk.cocolog-nifty.com/



被災直後の子どもたちは、黒や灰色などで倒れている人々を描きました。
ルワンダやボスニア、クロアチアの戦地で描かれた絵とそっくりでした。
津波の絵を描いた子どもたちも沢山いました。
子どもたちは、辛い境地に立ちながら懸命に現実と向き合っていました。
自分の心に耳を傾け、決して逃げることはしませんでした。

絵を描くワークショップを重ねるうちに、笑顔が子どもたちに戻ってきました。
少しずつ子どもたちは明るい色を使うようになり、一方では、子どもたちはチームとなり皆で大きな作品を仕上げました。

明るい絵を描く子どもたちとその作品を見て、笑顔を取り戻したり、涙を流す大人もいました。
言葉のない子どもたちの絵が、被災地の人々の心を癒しています。

子どもたちはセルフカウンセリングしその絵がすでに商品にもなり東北の子どもたちが他の子どもたちをサポートしています。

地震後、マンダリンオリエンタルホテル、丸ビル、玉川高島屋はじめ10カ所で東北の子どもたちが描いた絵の展覧会を行い被災地からのメッセージを送りました。

陸前高田市や福島県から作者を東京に招待し子どもたちは良い思い出と大きな自信を手に入れました。

子どもたちが楽しそうに絵を描く姿を見ると、この機会を一回でも多く作りたいという思いを強くします。

そして悲しみを乗り越えた先にある素晴らしい人生を子どもたちに歩んでいてもらいたい、そしてその一助になるべく、金沢美術工芸大学同窓会の皆様のご意志を胸にこれからも活動して参ります。

今回の地震で改めて自然の力の大きさに驚くとともに、便利になった現代生活のあり方を問う機会となりました。又、原発の恐ろしさを知った今、私達日本人が、これからどう生きていくかを世界が注視しています。

この悲しみを決して忘れる事なく世界に伝えていく事こそが私達の使命ではないでしょうか。

子供地球基金
代表
鳥居 晴美



金沢美術工業大学 同窓会
杉浦 美代子様

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より子供地球基金に温かいご支援を頂きまして、誠にありがとうございます。

皆様のお力添えを賜りまして、東北の子どもたちへの支援が出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。

本状と併せまして、東北支援活動報告書及び、寄付金使用内訳を同封させて頂きましたので、是非ご覧下さいませ。

今後とも子供地球基金をよろしくお願い申し上げます。

寒さの厳しい日が続いておりますので、くれぐれもご自愛下さいませ。

敬具

平成 24 年 2 月 吉日

特定非営利活動法人 子供地球基金
代表 鳥居晴美
スタッフ一同

KIDS EARTH FUND

3-25-2 Ebisu,
Shibuya-ku, Tokyo, Japan 150-0013
Phone: (03) 5449-8161 Fax: (03) 5449-3962
Email: info@kidsearthfund.jp
URL; <http://www.kidsearthfund.jp>